

海外安全対策情報（令和2年度第4四半期）

1 社会・治安情勢

- (1) パラナ州公安局発表による犯罪資料報告によると、パラナ州における2020年の殺人事件の発生件数は2008件となり、2019年と比べて12,8%増加した。クリチバ市における2020年の殺人件数は247件となり、2019年とほぼ同数であった。クリチバ市の殺人件数を人口10万人あたりで見ると7,8件であり日本の0,4件を大きく上回る
- (2) クリチバ市におけるマリファナやLSD等を扱ったドラッグを伴う犯罪件数は2019年と比較すると23,9%増加した。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) クリチバ大都市圏では近年、ATM 爆破強盗、携帯電話販売店、薬局、レストランおよび住居を狙った武装強盗、運転中や停車中を狙った車両強盗、武装集団による銀行を狙った襲撃事件が多発している。時間帯、場所を問わず銃器を使用した犯罪が増加しており、十分な注意が必要である。渡航情報（危険情報）については、クリチバ大都市圏では「十分注意して下さい」を継続中。
- (2) パラナ州西部に面する隣国との国境地帯（特にパラグアイ）からは頻繁に大麻等の麻薬類および銃器類の密輸が行われており、軍警察による押収量は増加する一方である。近年、パラナ州は麻薬の搬入ルートのみならず麻薬消費地域となっており、麻薬絡みの犯罪が増加傾向にある。

3 犯罪事例（1月～3月）

- (1) 1月15日（金）午前2時頃、クリチバ市セントロ地区のサウダニャ・マリニョ通りとドトル・ムリシ通りの交差点付近を通りかかっていた非番の軍警察官とその友人が強盗一名に襲われたものの同警察官が発砲し強盗は重傷を負った。
- (2) 1月28日（木）午後1時45分、クリチバ市バテル地区にあるショッピングモール（パティオ・バテル）内宝飾品店に3人組の強盗が押し入り警備員と従業員を武器で脅迫しながら店内の宝石類を強奪し逃走。強盗はサンパウロ方面に逃走したものの、連邦道路警察の協力により国道116号線上で犯人の位置を把握、犯行に関わった11人の内5人をサンパウロ州パラダトゥルヴォ市内で、6人を同州レジストロ市内で拘束した。

- (3) 2月22日(月)未明,クリチバ市ウベラバ地区で強盗に入った男を偶然通りかかった軍警察官が取り押さえようとしたところ,犯人の男は所持していたナイフで警察官に斬りかかった。警察官は拳銃で応戦し発砲,犯人は重傷を負い病院に搬送された。
- (4) 3月11日(木)夜間(犯行時刻不明)クリチバ市カパオンダイブイア地区で少なくとも2軒の薬局が3人組強盗の被害を受けた。被害内容は不明。被害店舗から通報を受けた軍警察が付近を捜索し犯人と思われる3人組を発見。拘束を試みた軍警察に犯人の男が発砲,応戦した警察官に犯人の男1人は射殺され,1人は逃走,未成年の男1人が身柄を拘束された。
- (5) 3月26日(金)午後(発生時刻不明)パラナ州サンタフェ市内でガソリンスタンドに駐車していたバスの内部より薬物とともに9mm口径の拳銃3丁を押収,その場にいたバスの運転手を現行犯逮捕した。供述によると薬物はサンパウロ市内に輸送中だった。パラナ州文民警察と連邦道路警察との共同作戦により,コカイン472kg,液状大麻2790カプセルを押収した。パラナ州内でのコカイン押収量としては史上最大量となる。
- (6) 3月26日(金)午後(発生時刻不明)携帯電話量販店にデリバリー用のリュックを背負った男が客を装い入店。同店に居合わせた警察官が男の様子を不振に思い拘束しようとしたところ,男が拳銃を取り出したため警察官が発砲。男は射殺された。